

**第18期（2023年3月期）  
決算説明資料**

**2023年6月9日**



**阪神高速道路株式会社**

# 当期連結決算の概要

当社グループの当期の連結業績は、営業収益 **2,501億円**（前年同期比+322億円）、営業利益 **23億円**（前年同期比▲10億円）、経常利益 **25億円**（前年同期比▲10億円）、親会社株主に帰属する当期純利益は **17億円**（前年同期比▲8億円）となりました。事業別の業績等の概要は、次のとおりです。

## 高速道路事業

- ◆ **料金収入**は1,768億円（前年同期比3.8%増）  
※新型コロナウイルス感染症の影響が弱まったことにより、通行台数が回復し、前年同期を上回りました。
- ◆ **道路資産完成高**は540億円（前年同期比68.9%増）
- ◆ **道路資産賃借料**は1,315億円（前年同期比5.8%増）
- ◆ **管理費用**は445億円（前年同期比0.6%増）
- ◆ この結果、  
**営業収益**は2,315億円（前年同期比14.0%増）  
**営業費用**は2,300億円（前年同期比14.7%増）  
**営業利益**は14億円（前年同期比42.3%減）  
となりました。

## 受託事業

- ◆ 国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設等の事業を受託したことにより、  
**営業収益**は131億円（前年同期比39.0%増）  
**営業費用**は131億円（前年同期比38.7%増）
- ◆ この結果、**営業損失**は63百万円  
（前年同期は営業損失70百万円）となりました。

## その他の事業

- ◆ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営、道路マネジメント事業、事業者支援コンサルティング事業等を展開したことにより、  
**営業収益**は59億円（前年同期比2.0%増）  
**営業費用**は48億円（前年同期比3.0%増）
- ◆ この結果、**営業利益**は10億円  
（前年同期比2.3%減）となりました。

単位：億円(単位未満切捨て)

## 主な増減内容

区 分		2023年3月期	2022年3月期	増減
営業収益	料金収入	1,768	1,703	+64
	道路資産完成高 <sup>(注)</sup>	540	320	+220
	その他売上	6	6	▲0
		2,315	2,030	+285
営業費用	道路資産賃借料	1,315	1,242	+72
	道路資産完成原価 <sup>(注)</sup>	540	320	+220
	管理費用	445	442	+2
		2,300	2,005	+295
高速道路事業 営業利益		14	24	▲10

- 営業収益
  - ・通行台数は、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まったことにより回復し、一日当たり約70.7万台（前年同期比3.5%増）
  - ・料金収入は1,768億円（前年同期比64億円増）
  - ・道路資産完成高は、大和川線事業の完了、営業中路線の修繕工事等の完成等により、前年同期比220億円増の540億円

- 営業費用
  - ・協定に基づく道路資産賃借料は、前年同期比72億円増の1,315億円
  - ・管理費用は、前年同期比2億円増の445億円

(注) 道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

# 関連事業

単位：億円(単位未満切捨て)

## 主な増減内容

区 分		2023年3月期	2022年3月期	増減
受託事業	営業収益	131	94	+36
	営業費用	131	94	+36
	営業利益	▲0	▲0	+0
その他の事業	営業収益	59	58	+1
	営業費用	48	47	+1
	営業利益	10	10	▲0
関連事業 営業利益		9	9	▲0

●受託事業  
大阪市道高速道路淀川左岸線に係る工事出来高の増等により、営業収益は前年同期比36億円増の131億円、営業費用は前年同期比36億円増の131億円となり、営業損失は63百万円（前年同期は営業損失70百万円）

●その他の事業  
休憩施設の運営、駐車場施設の運営、道路マネジメント事業、事業者支援コンサルティング事業等を展開したことにより、営業収益は前年同期比1億円増の59億円、営業費用は前年同期比1億円増の48億円となり、営業利益は10億円（前年同期比0.2億円の減）

# 当期連結財務諸表の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

## 連結貸借対照表

区 分	2023年3月期	2022年3月期	増減
資産の部	2,523	2,071	+451
流動資産	1,998	1,538	+459
(うち仕掛道路資産)	769	603	+165
固定資産	524	532	▲ 8
負債の部	1,932	1,498	+433
流動負債	406	328	+78
固定負債	1,525	1,170	+354
純資産の部	590	572	+17
株主資本	607	589	+17
資本金	100	100	-
資本剰余金	105	105	-
利益剰余金	401	384	+17
その他の包括利益累計額	▲ 16	▲ 16	+0

## 連結損益計算書

区 分	2023年3月期	2022年3月期	増減
営業収益	2,501	2,179	+322
営業費用	2,478	2,144	+333
営業利益	23	34	▲ 10
営業外収益	1	1	▲ 0
営業外費用	0	0	+0
経常利益	25	36	▲ 10
特別利益	0	0	▲ 0
特別損失	0	2	▲ 1
税金等調整前当期純利益	25	34	▲ 9
法人税等	7	8	▲ 1
親会社株主に帰属する 当期純利益	17	26	▲ 8

# 2024年3月期 連結業績の見通し

単位：億円(単位未満切捨て)

## 連結業績の見通し

区 分		2024年3月期 見通し	2023年3月期 実績	増減
営業 収 益	高速道路事業	<b>3,767</b>	2,315	+1,452
	料金収入	<b>1,788</b>	1,768	+19
	道路資産完成高	<b>1,978</b>	540	+1,437
	その他売上	<b>0</b>	6	▲5
	関連事業	<b>277</b>	190	+87
		<b>4,044</b>	2,501	+1,543
営業 費 用	高速道路事業	<b>3,759</b>	2,300	+1,458
	道路資産賃借料	<b>1,312</b>	1,315	▲2
	道路資産完成原価	<b>1,980</b>	540	+1,439
	管理費用	<b>466</b>	445	+21
	関連事業	<b>270</b>	180	+90
		<b>4,030</b>	2,478	+1,552
営業 利 益	高速道路事業(注)1	<b>7</b>	14	▲6
	関連事業	<b>6</b>	9	▲3
		<b>14</b>	23	▲9
	経常利益	<b>10</b>	25	▲14
	税金等調整前当期純利益	<b>9</b>	25	▲15
	法人税等	<b>3</b>	7	▲3
	親会社株主に帰属する当期純利益	<b>6</b>	17	▲11

親会社株主に帰属する当期純利益は、親会社の損失1億円に連結子会社の利益等7億円を加えた6億円となる見通しです。

なお、連結業績の見通しのうち、親会社の見通し額は国土交通大臣から認可を受けた令和5年度(2023年度)事業計画に基づいています。

(注) 1 高速道路事業の営業利益には、高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業に伴う損失が含まれております。

2 2024年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

# 2024年3月期 個別業績の見通し

単位：億円〔単位未満切捨て〕

区 分		2024年3月期 見通し	2023年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	<b>3,766</b>	2,309	+1,457
	料金収入	<b>1,788</b>	1,768	+19
	道路資産完成高	<b>1,978</b>	540	+1,437
	その他売上	-	0	▲0
	関連事業	<b>227</b>	140	+86
		<b>3,994</b>	2,450	+1,544
営業 費用	高速道路事業	<b>3,764</b>	2,309	+1,455
	道路資産賃借料	<b>1,312</b>	1,315	▲2
	道路資産完成原価	<b>1,980</b>	540	+1,439
	管理費用	<b>471</b>	453	+18
	関連事業	<b>225</b>	139	+86
		<b>3,990</b>	2,448	+1,541
営業 利益	高速道路事業 <sup>(注)1</sup>	<b>2</b>	0	+2
	関連事業	<b>2</b>	1	+0
		<b>4</b>	1	+2
経常利益		<b>▲0</b>	6	▲7
税引前当期純利益		<b>▲0</b>	7	▲7
法人税等		<b>1</b>	▲0	+1
当期純利益		<b>▲1</b>	7	▲9

## 個別業績の見通し

営業収益は、3,994億円  
 （前年実績比1,544億円増）  
 営業利益は、4億円  
 （前年実績比2億円増）  
 当期純損失は、1億円  
 （前年実績は当期純利益7億円）  
 となる見通しです。

なお、見通し額は国土交通大臣から  
 認可を受けた令和5年度（2023年度）  
 事業計画に基づいています。

(注) 1 高速道路事業の営業利益には、  
 高速道路事業の利益剰余金を活用した、  
 安全対策やサービス高度化に資する  
 事業に伴う損失が含まれております。

2 2024年3月期の業績見通しには、  
 不確定な要因を含んでおり、将来の  
 業績等を保証するものではありません。  
 実際の業績等については、様々な  
 要因により変化するものであること  
 をご承知おき下さい。

# グループ経営体制

(2023年3月31日時点)



## 【交通管理】

阪神高速パトロール(株)

## 【保全点検・維持修繕】

阪神高速技術(株)

内外構造(株)

(株)情報技術

(株)テクノ阪神

(株)ハイウェイ管制

阪神施設調査(株)

## 【調査・設計・積算等】

阪神高速技研(株)

(株)阪神 e テック

(非連結子会社)

はんしんどぼくぎじゅつしじゅんしゃんはいゆうげんこうし  
阪申土木技術諮詢(上海)有限公司

阪神高速道路(株)



## 【関連事業】

(休憩所・駐車場・集客施設運営等)

阪神高速サービス(株)

(事業者支援コンサルティング事業)

阪高プロジェクトサポート(株)



## 【料金收受】

阪神高速トール大阪(株)

阪神高速トール神戸(株)



# 2022年度の主なトピックス

## 1. ミッシングリンク解消に向けたネットワーク整備

\* ミッシングリンクの解消に向け、淀川左岸線2期、淀川左岸線延伸部及び大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）の整備推進に努めました。



鋼管杭工の実施状況



河川内橋脚工の実施状況



函体工の実施状況



橋梁架設工の実施状況

### 大阪都市再生 環状道路

凡例

- 営業中路線 (258.1km)
- 事業中路線 [合併施行区間を含む] (26.5 km)
- 他高速道路等
- 他高速道路等 事業中区間
- 計画路線 [都市計画決定済]

# 2022年度の主なトピックス

## 2. 高速道路リニューアルプロジェクトによる長寿命化の推進

\* お客さまに最高の安全と安心を提供するため、構造物の長寿命化に向けた高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）を推進しました。

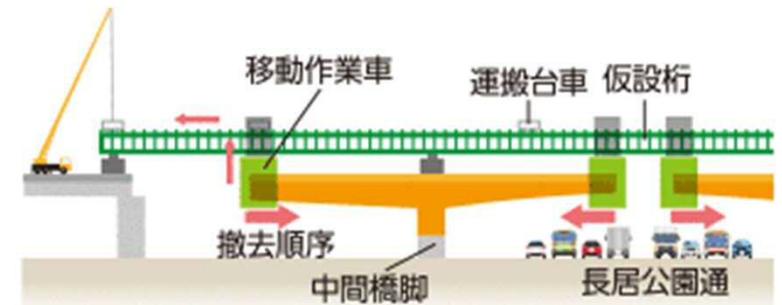
【大規模更新事業】14号松原線喜連瓜破付近、15号堺線湊町付近及び3号神戸線湊川付近において、工事を推進しました。

【大規模修繕事業】16号大阪港線（西行）阿波座付近において、縦目地構造の解消に向けた工事を推進しました。

3号神戸線（摩耶～芦屋）及び4号湾岸線（貝塚～りんくう）において終日通行止めによるリニューアル工事を実施しました。

### 〔工事の進捗状況〕

2023年1月より既設コンクリート橋梁の桁撤去を進捗しています。



既設コンクリート橋梁の撤去



既設コンクリート橋梁の桁切断状況



# 2022年度の主なトピックス

## 3. ETC専用化に向けた取組

### 2022年度運用開始ETC専用料金所13箇所



2022年5月運用開始 5箇所  
 【5号湾岸線】  
 西宮浜 甲子園浜  
 【2号淀川左岸線】  
 淀川左岸舞洲  
 【4号湾岸線】  
 高石 岸和田南(南行)

2023年3月運用開始 8箇所  
 【5号湾岸線】  
 深江浜(西行) 深江浜(東行)  
 南芦屋浜  
 【3号神戸線】  
 海老江  
 【4号湾岸線】  
 浜寺 泉大津(北行)  
 岸和田南(北行) 泉佐野北

料金所現地イメージ



**ETC専用**

サポート

もしくは

**ETC** サポート

ETCが使えない状態(ETC車載器未設置等)で誤ってご利用された場合は、『サポート』と表示されたレーンを通り、料金自動収受機の横で一旦停止して、インターホンにより係員の指示に従っていただくことを案内

HPや街路での案内



早期の周知・広報 (阪神高速HP)



現在運用中ETC専用料金所の案内

2022年度に阪神高速の13箇所の料金所をETC専用料金所として運用を開始しました。今後、料金所のキャッシュレス化・タッチレス化を推進するため、ETCの普及状況や運用状況を踏まえ順次拡大に取り組めます。

# 2022年度の主なトピックス

## 4. お客様満足向上の取組

\*お客様にもっと“安全・安心・快適”を実感し、ご満足いただくための様々な施策の取組をまとめた『お客様満足アッププラン』を継続的に実施することで、ますますのお客様満足の上昇に努めました。

もっとおトクに！

**土日祝限定** 『阪神高速ETC乗り放題パス2022』を販売しました！

- ❖ 2022年9月17日（土）～2023年3月26日（日）の計59日間
- ❖ 事前登録で阪神高速が定額で1日乗り放題 <1日4,000名様限定>
- ❖ 阪神高速の沿線施設（約40施設）でお得に利用できる優待共通クーポンを提供



もっとほっとしたい！

○サービス向上のためパーキングエリアを増設しました！

- ✓ 2022年4月27日に4号湾岸線（南行）に泉大津大型専用PAをオープンしました。
- ✓ 阪神高速では初となる木造建屋の大型車専用PAです。
- ✓ 木レンガによるぬくもりにより「ほっ」とできる空間になっています。



# 2022年度の主なトピックス

## 5. 関連事業の展開

- \* 阪神高速グループにおいてこれまで培ってきた技術・ノウハウを活用し、**周辺の自動車専用道路等の一体的管理、構造物点検、補修業務や海外事業を含む技術・補償コンサルティング事業**を実施しました。
- \* 社会のニーズに応えるため、高架下等の道路空間を有効に活用した**駐車場事業**、お客さまサービス向上を目指した**休憩所事業**、保有資産の有効活用をはじめとした**不動産事業**等を展開しました。

### 〔高速道路の維持管理等の技術・ノウハウを活かした事業展開〕

- 地方公共団体が管理する道路橋等の耐震補強設計業務や点検業務を受注
- 道路や鉄道など公共インフラの用地取得支援業務を地方公共団体等から受託

### 〔周辺の自動車専用道路等の一体的管理受託〕

- 大阪港咲洲トンネル・夢咲トンネル（大阪市）の管理運営を受託

### 〔休憩所事業の展開〕

- PAにおいて、レストラン・売店を運営。一部の、無人PAにおいては、自販機コンビニを設置し、お客さまへ軽食の提供を実施



泉大津大型専用PA



朝潮橋PAレストラン再開

### 〔海外事業の展開〕

- アジア、アフリカを中心にJICA等からの国際コンサルティング業務を実施 ⇒ 2022年度は、新たに1案件を受注
- タイで、公共インフラ等維持管理を行う現地法人の設立を決定

### 〔道路空間や資産の有効活用〕

- 駐車場事業：高架下等の約300箇所でも月極・時間貸駐車場を展開 ⇒ 2022年度は、新たに道路区域内外6箇所でも駐車場をオープン
- 不動産事業：賃貸住宅事業や事業用定期借地等を展開



阪高ファインパーク信濃橋第1  
(阪神高速高架下)



阪高ファインパーク江の木町  
(阪神高速高架下以外)

◆本資料には将来の予測や見通しに関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績等を保証するものではありません。将来の業績等は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意下さい。

【お問い合わせ】

 阪神高速道路株式会社 経理部経理課

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト  
TEL: 06-6203-8888(代)  
FAX: 06-6203-8313  
URL: <https://www.hanshin-exp.co.jp>